

# Ewon Flexy (FLEXY20500\_00MA) Ethernet接続セットアップマニュアル

▼改訂履歴

版数	発行日	改定箇所	改定内容
バージョン1.0	2025年11月14日		初版発行

- ご注意
- ・ 本書に掲載されている内容の無断転載、画像、文章の無断複製・転用を禁じます
  - ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。



# 目次

1. 設定の準備	
1.1 <a href="#">概要</a>	4
1.2 <a href="#">システム構成</a>	5
1.3 ソフトウェアのインストール <a href="#">Ecatcher</a>	6
<a href="#">Ebuddy</a>	8
2. Talk2m の設定	
2.1 <a href="#">Talk2m Free+ アカウントの新規作成</a>	9
2.2 <a href="#">Talk2m Free+ アカウントにFlexyを追加する</a>	11
3. Flexy 本体の設定	
3.1 <a href="#">Flexy本体の電源を入れる</a>	13
3.2 <a href="#">Flexy本体の設定をする</a>	14
3.2.1 <a href="#">Flexy本体の設定をする（内蔵Webブラウザ画面(GUI)）</a>	15
3.2.2 <a href="#">Flexy本体の設定をする（USB /SDカード）</a>	23
4. リモートアクセスの確認	
4.1 <a href="#">Flexy経由で接続機器へ接続する</a>	26
4.2 <a href="#">接続方法</a>	28
付録)	
1. <a href="#">仕様</a>	29
2. <a href="#">外形寸法図</a>	29
3. <a href="#">各部の名称</a>	30
4. <a href="#">LEDランプ</a>	30
5. <a href="#">トラブルシューティング</a>	31

関連資料は以下をご参考ください。

[関連資料（英語）]

- [UM-0002-00 - Flexy Family User Guide](#)
- [IG-0028-00 - Ewon Flexy Base Unit 205](#)
- [RG-0008-00 - Flexy Family](#)

[関連資料（日本語）]

- [Ewon 関連ファイル](#)

## 1. 設定の準備

### 1.1 概要

Ewon は、FA向けのリモートアクセスを提供するHMS Networks の製品ブランドです。

2001年の発売開始以来、多くの装置メーカー様とエンドユーザ様に、安全かつ簡単なリモートアクセスを提供しています。

Ewon のソリューションは、Flexy本体と Talk2m 接続サービスという2つの主要な要素で構成されています。

Flexy本体は、通常、制御盤内の DIN レールに取り付けられ、PLC、HMI、IPC、IP カメラなど、リモートアクセスが必要な機器に接続されます。インターネットへの接続が必要であり、有線Ethernet、Wi-Fiまたは携帯電話の4Gネットワーク経由で接続できます。インターネットに接続されると、Flexyは Talk2m に登録されます。Talk2m は、世界中に設置された VPN サーバーで構成された、Ewon の安全性、信頼性、拡張性の高い産業用VPN接続サービスです。

現場の設備や装置をリモートで監視または保守するエンジニアは、Talk2m の接続ソフトウェアである Ecatcher を使用して、ご自身のパソコンから 現場のFlexy本体へ、安全な VPN 接続を確立することができます。この VPN 接続が確立されると、パソコンが LANケーブルを介して装置に直接接続されているかのように使用できます。世界中のどこからでも、まるで現場にいるかのように設備や装置のトラブルシューティングや監視が可能になります。

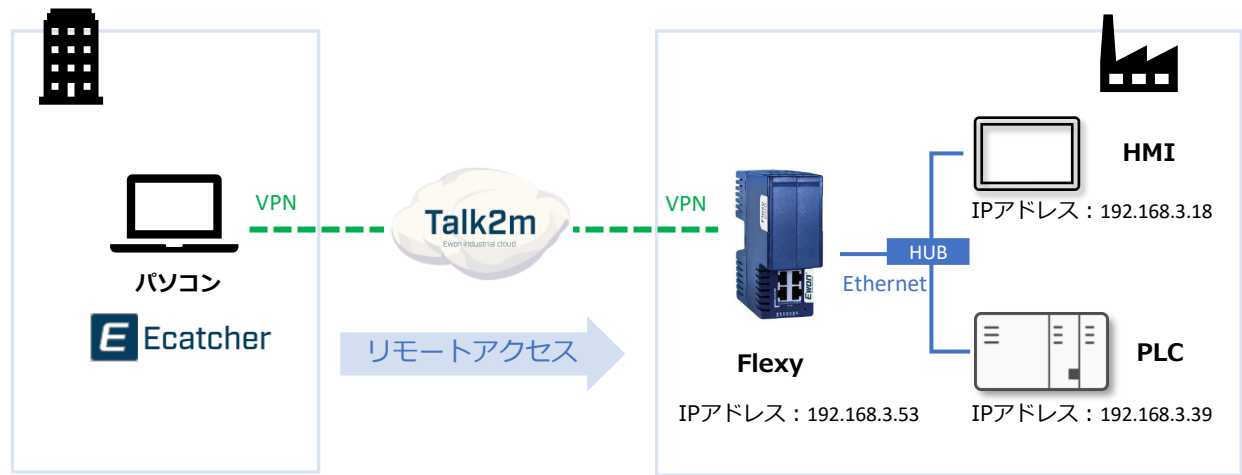
本書では、Ewon のリモートアクセスソリューションを使用して、事務所などのパソコンから、現場のPLCやHMIにインターネット経由で接続する方法を説明します。

#### Talkm2m とは

- 初の産業用クラウド接続サービス(2006年～)
- 国際基準 ISO27001認証取得
- 世界中に40以上のサーバー
- 178か国で 500,000台以上の Ewonゲートウェイが使用されている
- 年間 800 万以上の VPN 接続
- 米国で 9 年連続で「リモートマシンアクセス」ソリューションのNo.1に選出
- 無料で利用可能

1.2 システム構成

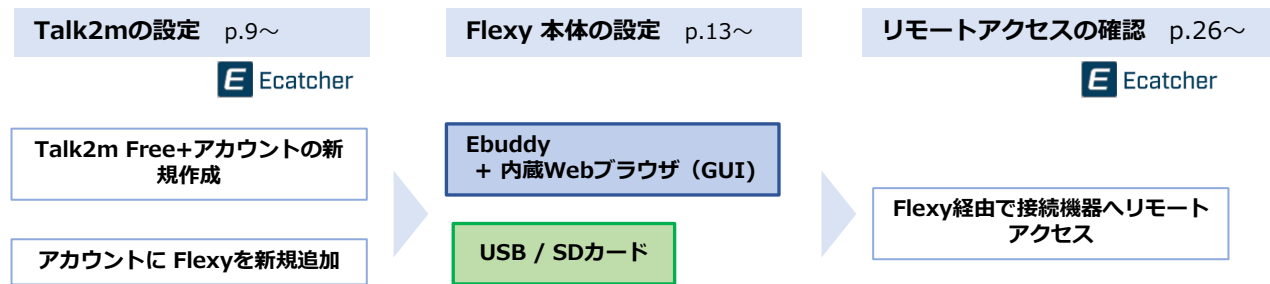
本書では、以下のシステム構成を例として説明します。



■ 準備するもの

Ewon Flexy	FLEXY20500_00MA	
パソコン		Windows10以上
ソフトウェア	Ecatcher (イーキャッチャー)	Talk2m 接続ソフトウェア *次ページ参照
ソフトウェア	Ebuddy (イーバディ)	Flexy設定用ソフトウェア *次ページ参照
Ethernetケーブル		Flexy設定時に使用
USB / SDカード		USB / SDカードを使用して設定する場合のみ
その他		(接続機器に応じてパソコンへインストール) PLCエンジニアリングソフトウェア、 表示器画面作成ソフトウェア、など

■ 設定の流れ



## 1.3 ソフトウェアのインストール -Ecatcher

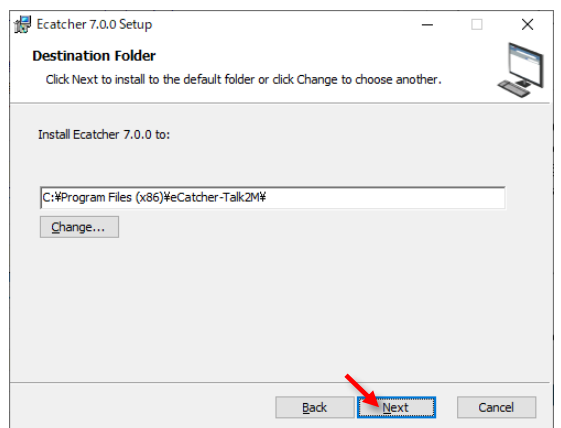
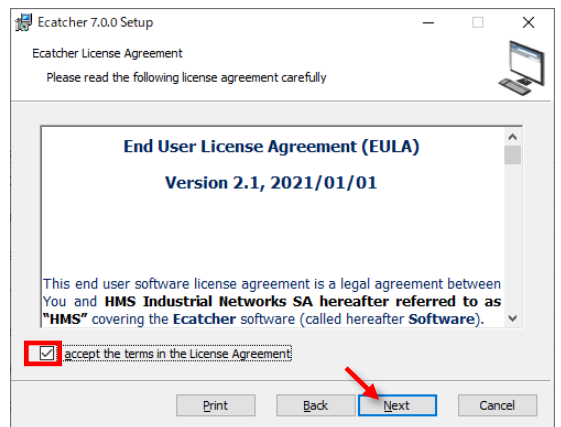
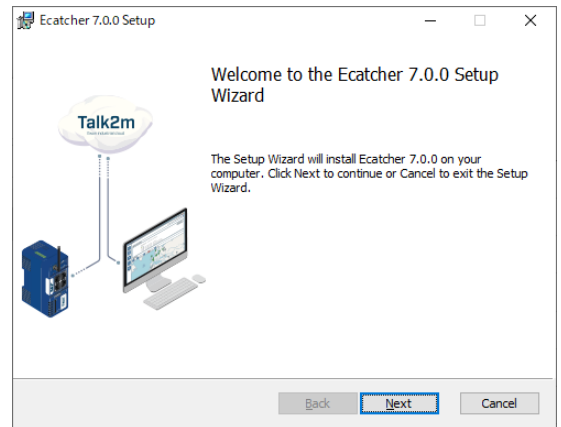
1 以下URLよりダウンロードしてください。

<https://www.hms-networks.com/support/general-downloads>

File	Filetype	Size	
● i4scada 3.9 Setup	HTML	143.0 bytes	<a href="#">Download</a>
● Ebuddy	MSI	4.0 MB	<a href="#">Download</a>
● Talk2m Connection Checker	MSI	2.1 MB	<a href="#">Download</a>
● Ecatcher	MSI	60.4 MB	<a href="#">Download</a>
↳ ● Ecatcher - Release notes	TXT	27.0 KB	<a href="#">Download</a>

2 Ecatcher をインストールします。

セットアップウィザードに従い、インストールします。



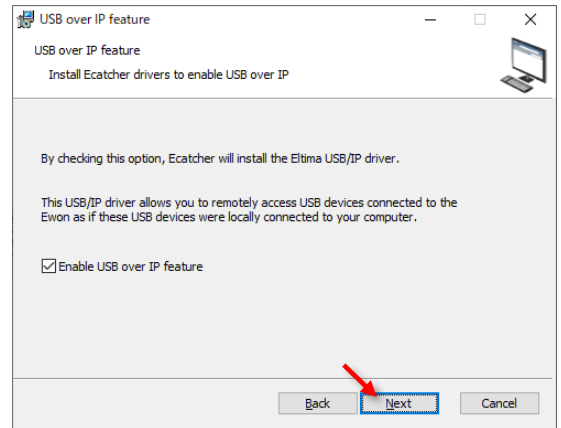
ダウンロードが開始しない場合や、エラーが発生する場合は、ファイアウォールやプロキシでアクセスがブロックされている可能性や、アンチウイルスソフトでブロックされている可能性があります。

異なる環境（Wi-Fiや有線）での接続をお試しいただくか、または社内ネットワーク管理者にご確認ください。

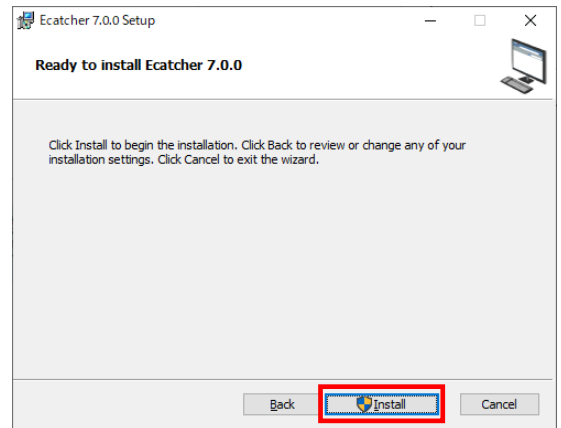
(参考) Ecatcher Online Help  
-[Endpoints for computers and tablets](#)



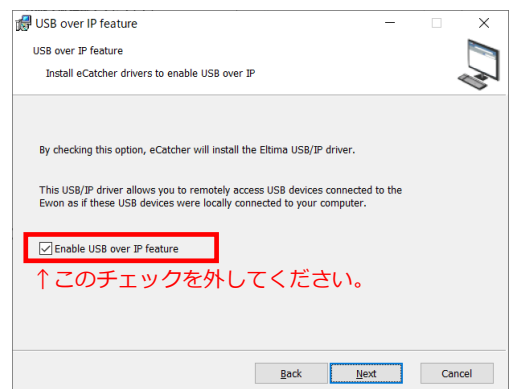
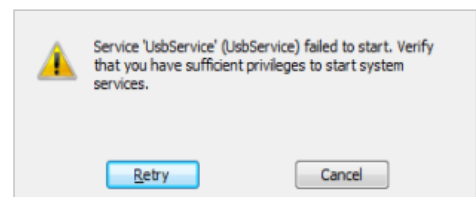
このオプションをチェックすると、Ecatcher は Ethernet USB/IP ドライバーをインストールします。  
この USB/IP ドライバーを使用すると、Ewon に接続された USB デバイスに、あたかもこれらの USB デバイスがコンピューターにローカルに接続されているかのようにリモートでアクセスできます。



[Install]をクリックして、インストールは完了です。



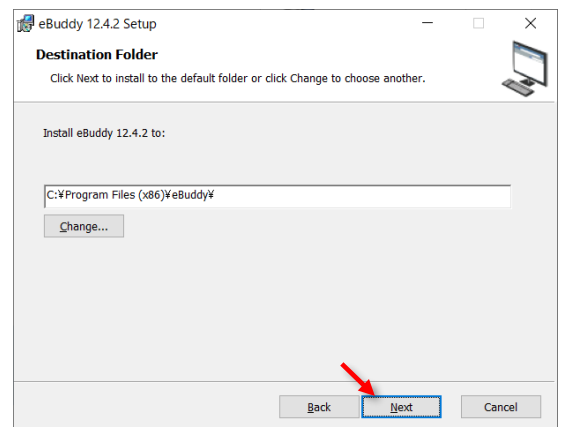
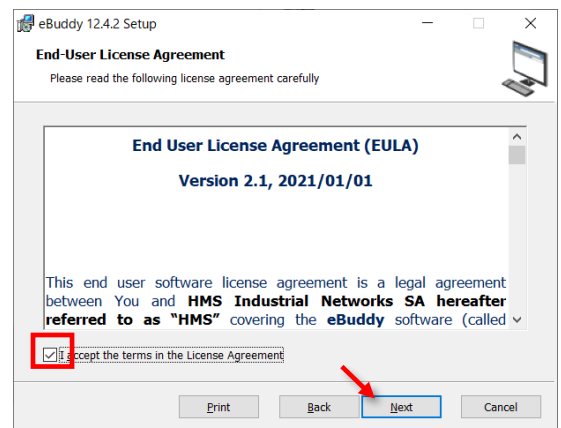
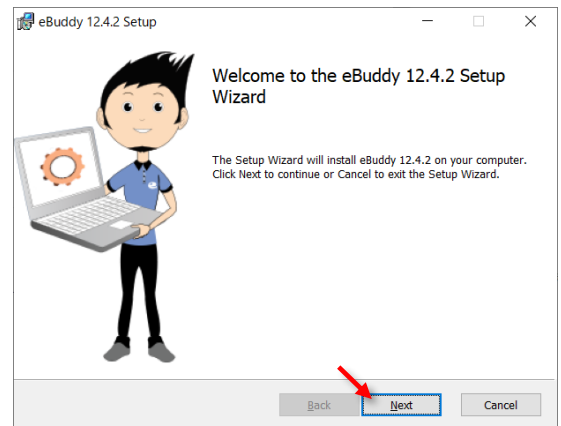
Ecatcherのインストール時に、右のようなUSBエラーが出る場合は、右下図の画面でチェックを外してから、次へ進んでください。



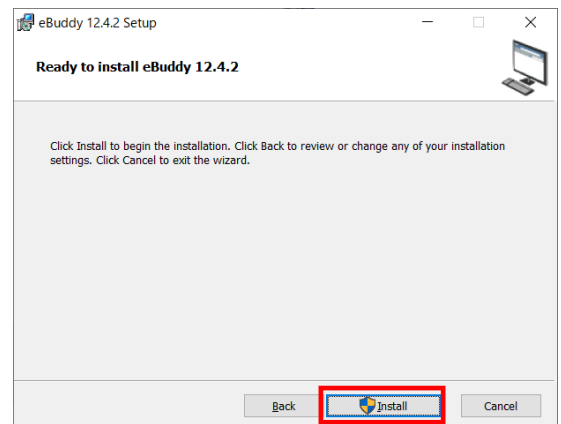
## 1.3 ソフトウェアのインストール -Ebuddy

### 3 Ebuddy をインストールします。

セットアップウィザードに従い、インストールします。



[Install]をクリックして、インストールは完了です。





## 2. Talk2mの設定

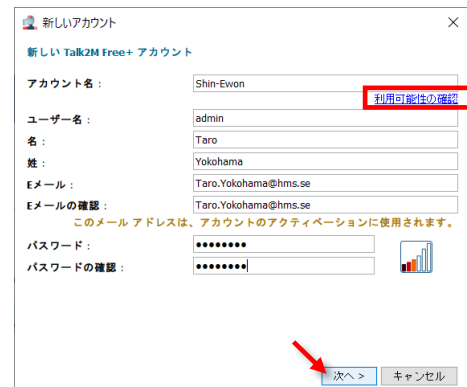
### 2.1 Talk2m Freeアカウントの新規作成

- 1 Ecatcherを起動し、[Free+アカウントの作成]をクリックします。



- 2 アカウントを作成します。

項目	内容
アカウント名	作成したいアカウント名を入力し、 [利用可能性の確認]で使用可能か確認します。 (英字・数字・記号“-” “_” “.”)
ユーザ名	デフォルトは「admin」が入力されます。 必要に応じて変更してください。 1つのアカウントに、複数のユーザを作成することが可能です。 (英字・数字・記号)
パスワード	8字以上 (英字・数字・記号の2種類以上)

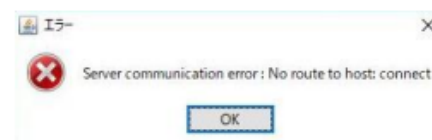


- 3 必要な情報を記入して、[利用規約に同意]をクリックします。  
新しいTalk2m Free+ アカウントが作成されます。



右図のエラーが出る場合はファイアウォールやプロキシでアクセスがブロックされている可能性があります。  
ネットワーク管理者にご確認ください。

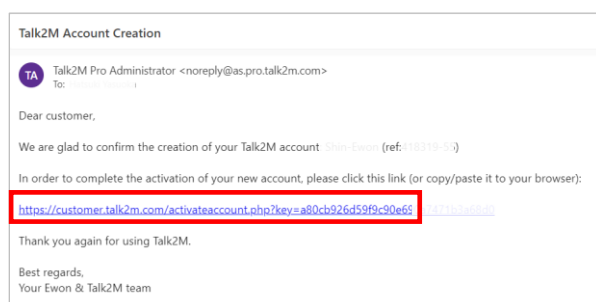
Ecatcherをプロキシ経由で接続する方法は、次ページをご覧ください。



- 4 アカウントの作成が完了したことを示すメッセージが表示されます。  
登録したメールアドレスにメールが送信されます。

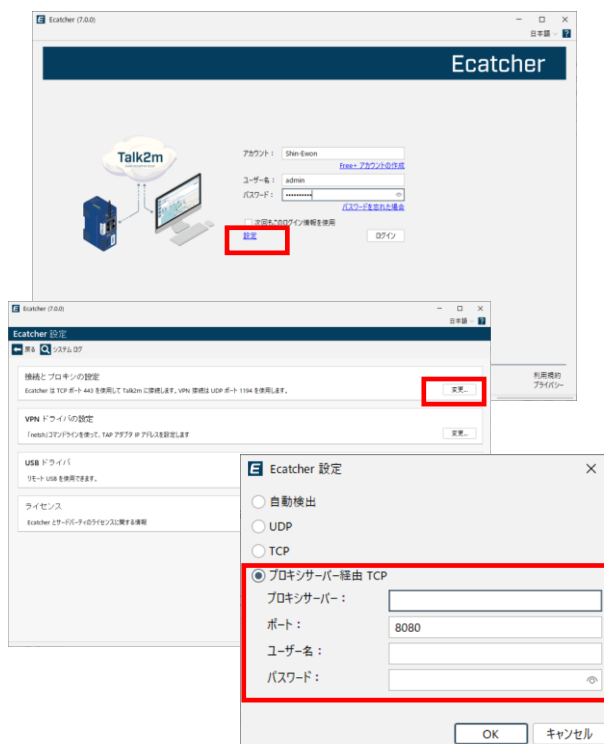


- 5 Talk2m から送信されたメールのリンクをクリックすると、アカウントが有効になります。  
これでアカウントの作成は完了です。



**!** Ecatcherをプロキシ経由で接続するには、ログイン画面で[設定]をクリックします。

[接続とプロキシの設定]をクリックし、  
[プロキシサーバ経由TCP]をチェックして、  
各項目を設定します。



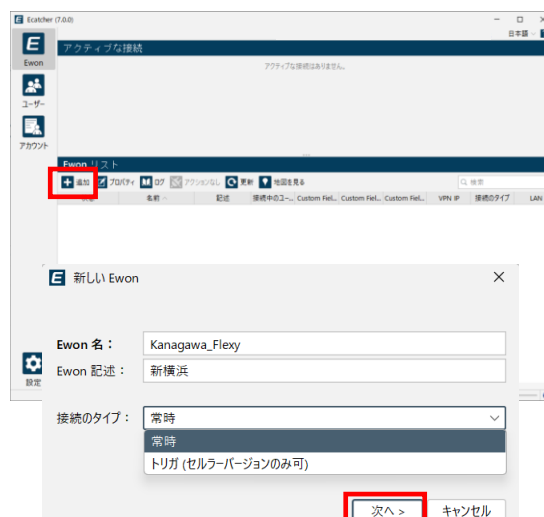
## 2.2 Talk2mアカウントに、Flexyを追加する

- 1 Ecatcherから、Talk2mアカウントにログインし、Ewonリストの[追加]をクリックします。

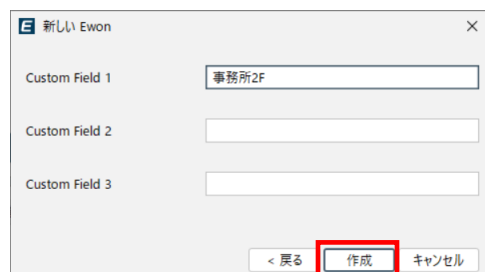


- 2 新規で登録する Flexyの情報を入力します。

項目	内容
Ewon名	アカウント上でFlexyを識別するための名前 (英字・数字を推奨。日本語も入力可)
Ewon記述	補足など。(入力は任意。日本語可)
接続のタイプ	「常時接続」
Custom Field 1～3	補足など。(入力は任意。日本語可)



- 3 [作成]をクリックします。



- 4 Flexy本体の設定方法を選択します。

### ①内蔵Webブラウザ設定画面 (GUI)

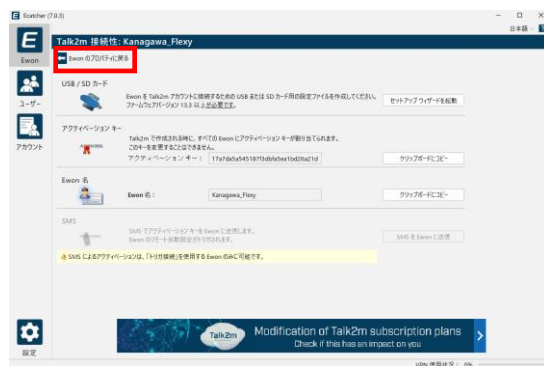
→パソコンとFlexyを直接LANケーブルで接続し、Webブラウザの設定画面でアクティベーションキーを設定する (詳細⇒ 3.2.1へ)

### ②USB / SDカード

→Ecatcherから、USB / SDカードに設定を書込み、Flexy本体に装着する (詳細⇒ 3.2.2へ)



5 [Ewonリストに戻る]をクリックします。



6 Ewonリストに新しいFlexyが登録されました。  
(状態は「オフライン」です。)



ここまで、Ecatcherの設定が完了したら、  
Flexyの本体を設定します。

**i** ウィンドウの右上にある[言語選択リスト]を使用して、言語を変更することも可能です。  
(新しい言語の適用には、Ecatcher を再起動する必要があります。)

**i** [?] から、「[Ecatcher Online Help](#)」へリンクします (英語のみ)



## 3. Flexy本体の設定

### 3.1 Flexy本体の電源を入れる

Flexy本体下部に、配線した電源コネクタを差し込み、電源を入れます。

緑色の電源コネクタは購入時に同梱されていますが、電源DC12-24Vはお客様にてご用意をお願いします。

電源コネクタの仕様は以下の通りです。



項目	仕様
1	DO_COM    MOSFETトランジスタのエミッタに接続される出力信号（0Vグラウンド）
2	DO        出力信号
3	DO_VDC   外部ブリッドライブ電源のコモン（+12～+24 Vdc）
4	DI_COM    入力グラウンド（絶縁）
5	DI1        入力信号1
6	DI2        入力信号2
7	＋         12～24V
8	－         0V
9	アース    アース

正常に電源が接続されている場合、Flexy本体の[PWR]ランプが緑色に点灯します。



## 3.2 Flexy本体の設定をする

Flexy本体の設定は、2つの方法があります。

以下のどちらかの方法で設定をしてください。

### ①内蔵Webブラウザ設定画面（GUI）

#### ➡3.2.1 Flexy本体の設定をする（Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI））

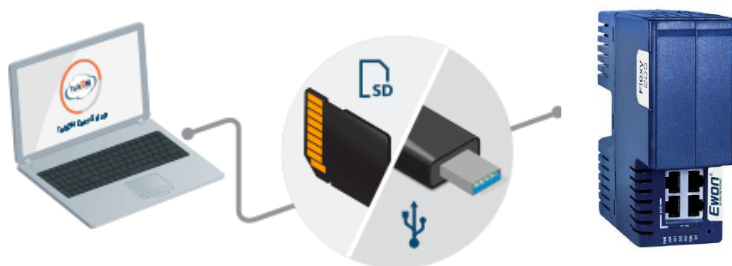
パソコンとFlexyを直接LANケーブルで接続し、Ebuddy（設定用ソフトウェア）でFlexyのIPアドレスを設定した後、Webブラウザの設定画面（GUI）からウィザード画面に従って設定し、アクティベーションキーを設定します。



### ②USB / SDカードを使用する

#### ➡3.2.2 Flexy本体の設定をする（USB/SDカード）

Ecatcherから、パソコンに装着したUSB / SDカードに設定を書込み、書き込んだUSB / SDカードをFlexy本体に装着することで設定します。



### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する  
場合は、p.23へ

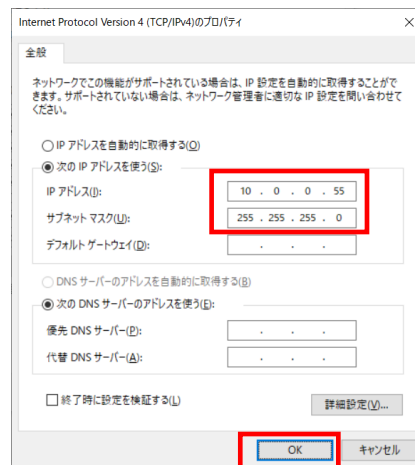
#### 1 パソコンのIPアドレスを変更する

Flexyと接続するため、ご使用のパソコンのIPアドレスを、Flexyのデフォルト(初期設定)のIPアドレスと同じネットワークセグメントに合わせます。

FlexyのデフォルトのIPアドレスは、以下です。

- ・ IPアドレス : 10.0.0.53
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0

本書では、例として、  
パソコンのIPアドレスに  
「10.0.0.55」を設定しています。



#### i パソコンのIPアドレスの設定方法

\*Windows10の場合

- ① [コントロール パネル]を開く。  
タスク バーの [スタート] ボタンをクリック  
→[Windowsシステムツール]を展開  
→[コントロールパネル]を開く。
- ② [ネットワークの状態とタスクの表示]をクリック。
- ③ [アダプターの設定の変更]をクリック。
- ④ [ネットワーク接続]に表示されたLANアダプターを選択して右クリックして[プロパティ]をクリック。
- ⑤ [Internet Protocol Version 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ]を選択。



### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する  
場合は、p.23へ

#### 2 Ebuddy (Ewon本体設定ツール)を起動する

リストに表示されたFlexyを選択します。  
(表示されない場合は、[Refresh]をクリックしてください。)

[Set IP]をクリックして、Flexy 本体のIPアドレス  
を変更します。

本体のシリアルナンバーが合っているか確認して、  
[次へ]をクリックします。

接続機器と同じIPアドレスのセグメントになる  
ように、FlexyのIPアドレスを設定します。

本書では、以下を例にしています。

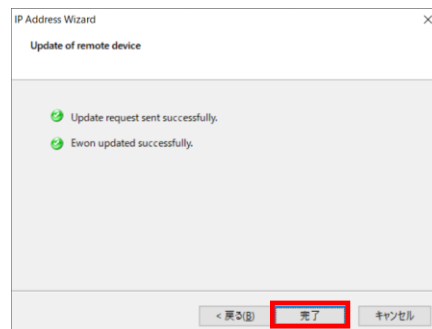
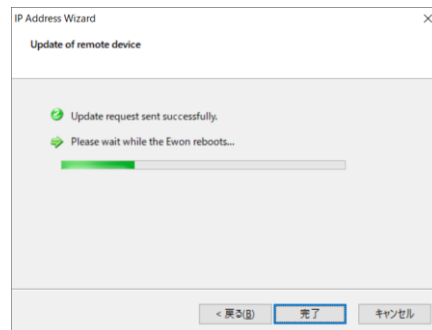
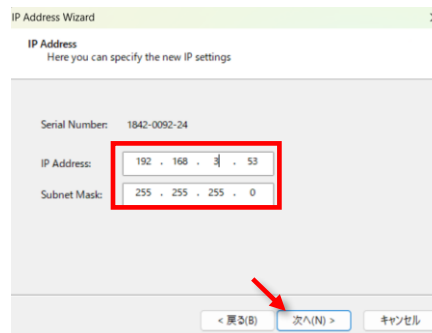
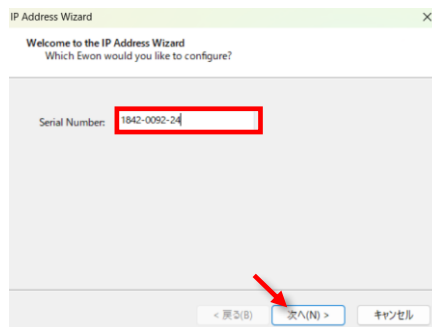
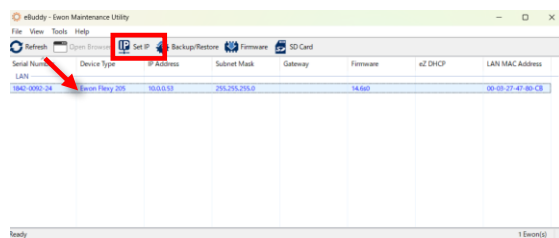
Flexy :192.168.3.53  
PLC : 192.168.3.39  
HMI : 192.168.3.18

構成の詳細は、p.5を参照ください。

[次へ]をクリックして、設定を書込みます。

書込みには、少々時間がかかります。  
書込み中は [完了] を押さないでください。

書込みが完了後、[完了]をクリックすると、Flexy  
が再起動します。  
再起動後に、新しい IPアドレスが有効になります。

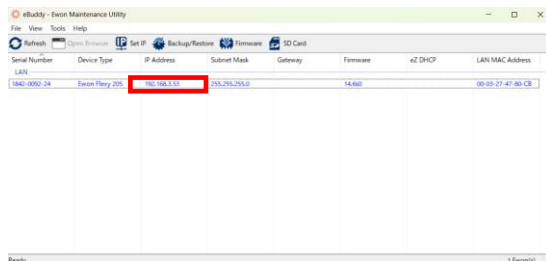




### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する  
場合は、p.23へ

変更後のFlexyのIPアドレスを確認します。



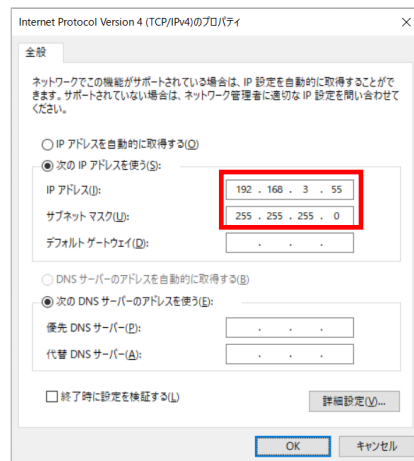
#### 3 再度、パソコンのIPアドレスを変更します。

任意のIPアドレスに変更したFlexyと接続するため、  
再度ご使用のパソコンのIPアドレスを変更します。

本書では、例として、  
「192.168.3.55」を設定しています。

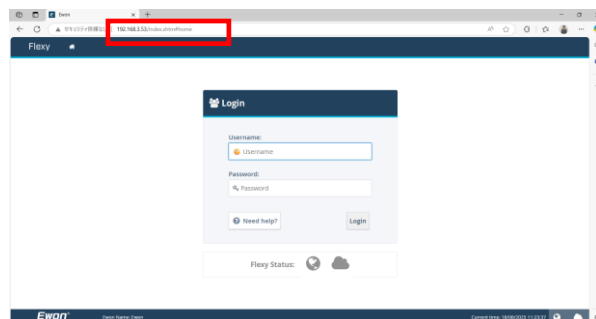
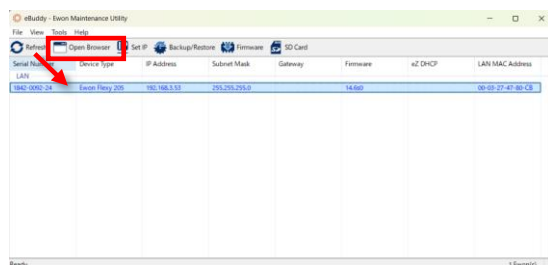


パソコンとFlexyのIPアドレスは、  
異なるIPアドレスにしてください。  
(同じIPアドレスでは通信できません。)



#### 4 Webブラウザの設定画面 (GUI) を開きます。

Ebuddyのリストに表示されたFlexyを選択し、  
[Open Browser]をクリックします。  
(または、Webブラウザのアドレスバーに、Flexyの  
IPアドレスを直接入力します。)



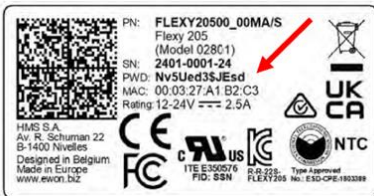
### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.23へ

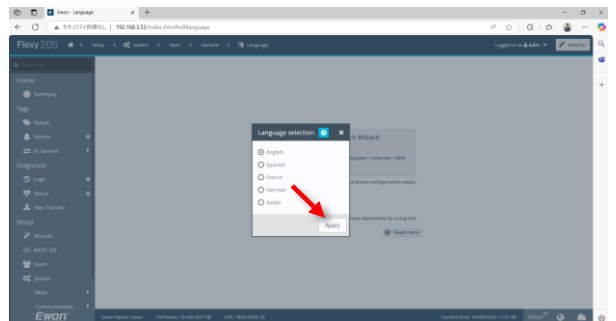
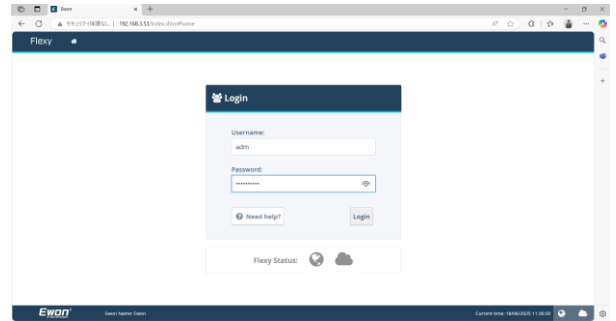
#### 5 Webブラウザの設定画面 (GUI) にログインします。

デフォルトのログイン情報は以下です。

- Username : adm
- Password : 本体ラベル記載  
(\*本体ラベルに記載がない場合はadm)

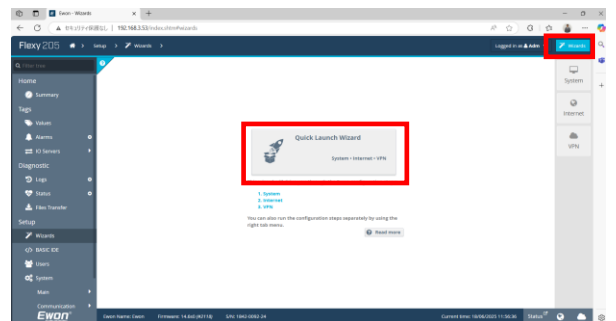


設定画面で使用する言語を選択します。  
(日本語はありません。)



#### 6 画面中央の「Quick Launch Wizard」をクリックし、ウィザード画面に従って設定を開始します。 (「Quick Launch Wizard」が表示されない場合、右上の「Wizards」ボタンをクリックします。)

- システム : PW,日付などの基本的なシステム設定
- インターネット : WAN側の通信設定
- Talk2m : Flexy本体とTalk2mアカウントを紐づけVPN接続を設定

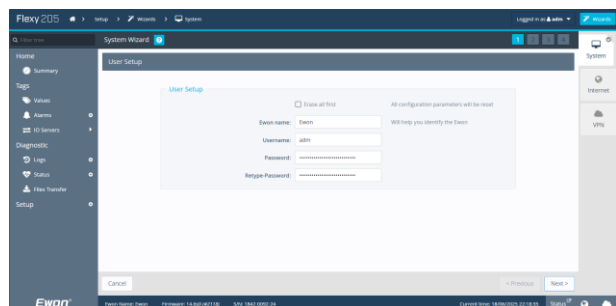


#### 7 システムウィザードでは、基本的なシステム設定をします。

User SetupではWebブラウザ画面へログインするパスワードを変更できます。

Password : 新しいパスワード  
Retype-Password : 上記をもう一度入力

\*パスワードを忘れた場合はファクトリーリセットを実施して再度設定してください。



### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する  
場合は、p.23へ

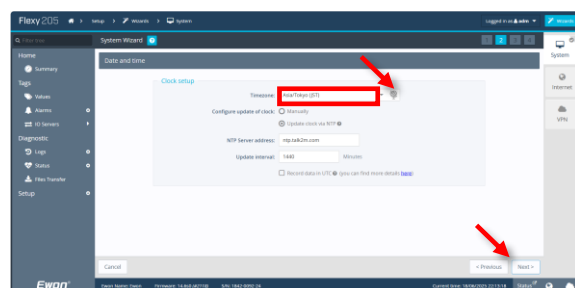
8 次に、[Timezone](タイムゾーン)で日時を設定します。

プルダウンまたは地図アイコンから、Flexyを使用する国・都市を設定します。

Talk2mでは、Flexyの日付が正しいことが必要です。

日本で使用する場合：「Asia/Tokyo(JST)」

[Configure update of clock] の設定は基本的に **Update clock via NTP** を選択してください。  
時刻同期するためのNTPサーバが設定され、  
時計の更新に使用される [Update interval](更新間隔)は、1440分(=1日)です。



Ethernetポートの設定をする画面が表示されます。

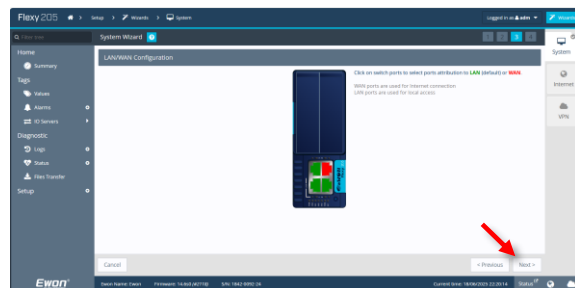
デフォルトは、以下です。

**ポート1, 2, 3 = LAN** (機器との接続用)

**ポート4 = WAN** (インターネット接続用)

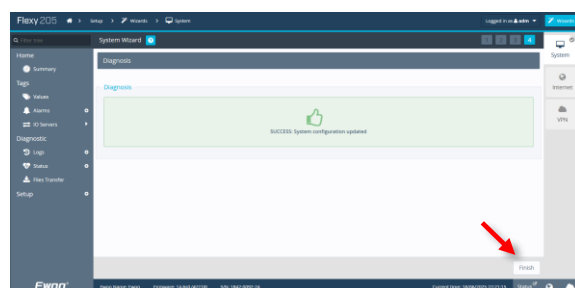
この画面から、各Ethernet ポートをクリックして LAN または WAN に変更できます。

※ポート1 はWANに設定できず、必ずLANです。



SUCCESS(成功)と表示され、システム設定は完了です。

[Next Wizard]をクリックして、インターネットの設定に進みます。

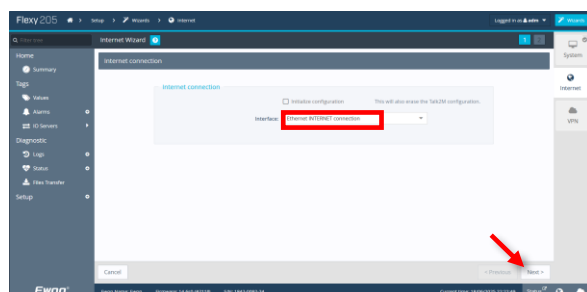


### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する  
場合は、p.23へ

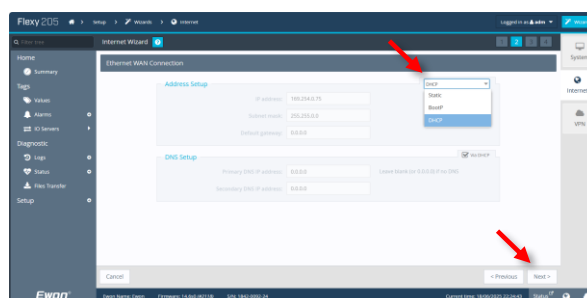
- 9 インターネット ウィザードでは、インターネットに接続するための設定をします。

有線Ethernetで接続する場合、  
[Ethernet INTERNET connection] を選択します。



ネットワーク構成に応じて、  
FlexyのWAN側のIP アドレスを受け取る方法 (Static  
(静的/固定)、BootP、DHCP) を選択します。

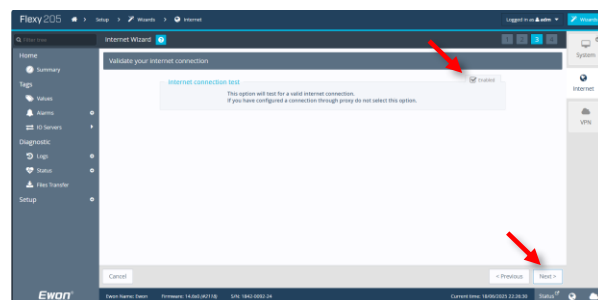
DHCP : FlexyはネットワークにあるDHCP サーバー  
からWAN IP の設定情報を自動的に割り当  
てられます。



Static (固定) : ITネットワークの管理者に、使用でき  
るIPアドレスの情報を問い合わせてください。

インターネット接続のテストをします。

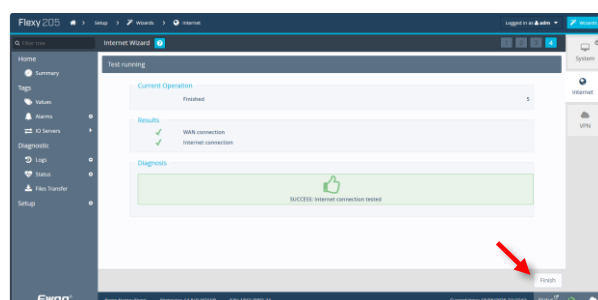
デフォルトでは、[Internet connection test]に  
チェックが入っています。



接続テストが不要な場合、または、プロキシサーバー  
経由のインターネット接続の場合は、チェックを外  
してください。

SUCCESS(成功)と表示され、インターネットの設定は  
完了です。

[Next Wizard]をクリックして、Talk2mの設定に進み  
ます。



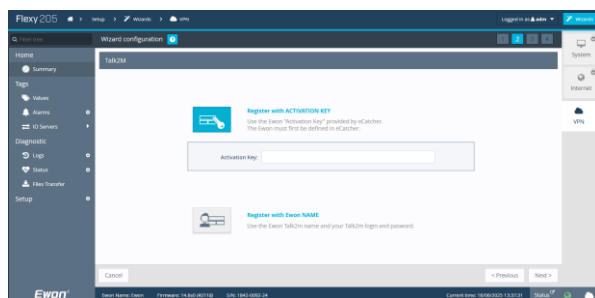
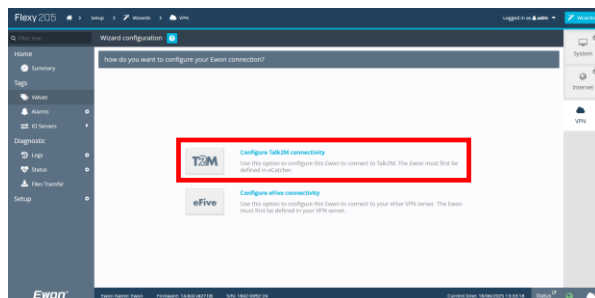
SUCCESSにならない場合は、IPアドレス、  
サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、  
DNSサーバの設定が誤っている可能性があります。  
また、FlexyのLAN側IPとWAN側のIPアドレスが、同  
じセグメントに含まれている場合もインターネット接  
続に失敗します。この場合は、LAN側IPとWAN側の  
IPが異なるセグメントになるよう、どちらかのIPアド  
レスを変更してください。

### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する  
場合は、p.23へ

- 10** Talk2mウィザードでは、Flexy本体とTalk2mサーバー上のTalk2mアカウントとを紐づけ、VPN接続の設定をします。

Configure Talk2M connectivity押下後、  
[アクティベーションキー]を入力する画面が表示されます。



Ecatcherを開き、2.2で登録したFlexyを選択します。



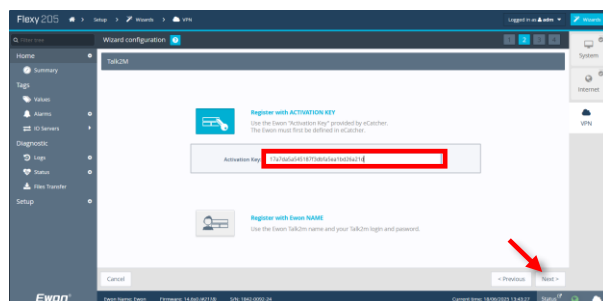
[プロパティ]→[Talk2m接続性]をクリックします。



表示されたアクティベーションキーを、[クリップボードにコピー]します。



先ほどのWebブラウザの設定画面に、アクティベーションキーを貼り付けます。

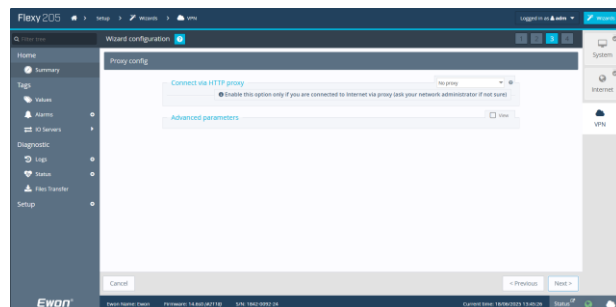


### 3.2.1 Flexy本体の設定をする (Ebuddy、内蔵Webブラウザ画面(GUI))

USB / SDカードから本体設定する場合は、p.23へ

続いて、プロキシの設定をします。  
デフォルトでは、[No proxy]です。  
多くの場合、変更不要です。

Flexyがプロキシサーバー経由でインターネットに接続する場合は、プロキシと認証のモードを選択します。  
プロキシサーバーの情報については、ITネットワーク管理者に問い合わせてください

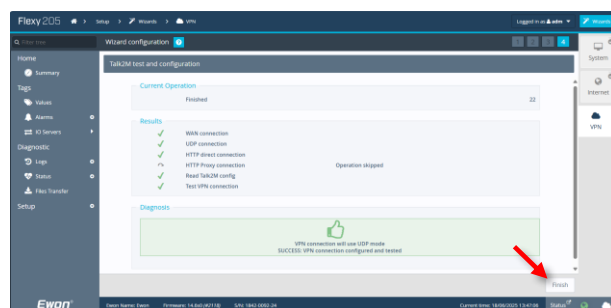


Talk2mの接続テストを行い、設定は完了です。



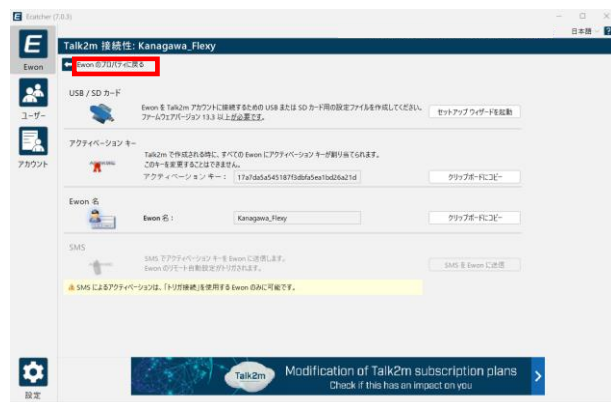
以前にこのFlexyが、別のTalk2mアカウントに紐づいている場合、Read Talk2M config でエラーになり、“Talk2M access denied”と表示されます。この場合は、以前のTalk2mアカウントからの紐づけを解除する必要があります。

また、ファイアウォールやプロキシでブロックされる場合も同じエラーが表示されます。この場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。



Ecatcherから、[Ewonリストに戻る]をクリックし、Flexy本体が、オンラインになっていることを確認します。

これですべての設定が完了です。



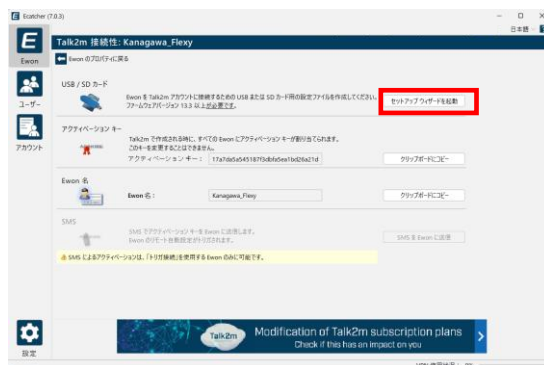
### 3.2.2 Flexy本体の設定をする (USB/SDカード)

内蔵Webブラウザの設定画面(GUI)から本体設定する場合は、p.15へ

- 1 Ecatcherを開き、2.2で登録したFlexyを選択します。  
[プロパティ]→[Talk2m接続性]をクリックします。



- 2 「USB / SD カード」欄の [セットアップ ウィザードを起動] をクリックして、簡単セットアップウィザードを起動します。



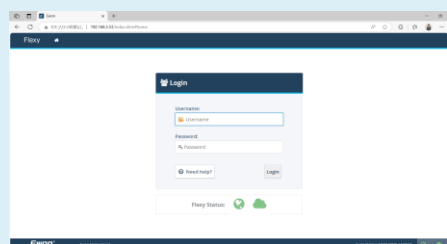
ここから設定用ファイルを作成して、USBドライブまたはSDカードに保存して、Flexy本体に装着するだけで設定ができます。

- 3 「デバイスの設定ウィザード」の最初のステップでは、内部時計のタイムゾーンと、Webブラウザの設定画面(GUI)のログインパスワードの設定をします。



**i** Web ブラウザの設定画面(GUI)は、パソコンとFlexy本体をLAN ケーブルで接続して、FlexyのIPアドレスを指定します。

左で設定したパスワードは、以下のログイン画面で使います。



### 3.2.2 Flexy本体の設定をする（USB/SDカード）

内蔵Webブラウザの設定画面(GUI)から本体設定する場合は、p.15へ

- 4** 次に、Flexy本体のインターネットへの接続方法を選択します。

「イーサネット」をクリックし、ウィザードに従って設定します。

- 5** FlexyのWAN側IPアドレスを設定します。

静的 IP アドレスを手動で設定することも、DHCP サーバーから自動取得することも可能です。

また、プロキシサーバーを使用する場合、「詳細パラメータ」から設定できます。

Flexy本体のEthernet WAN ポート（デフォルトではポート4）は、インターネットへ接続用です。

- 6** FlexyのLAN側IPアドレスを設定します。

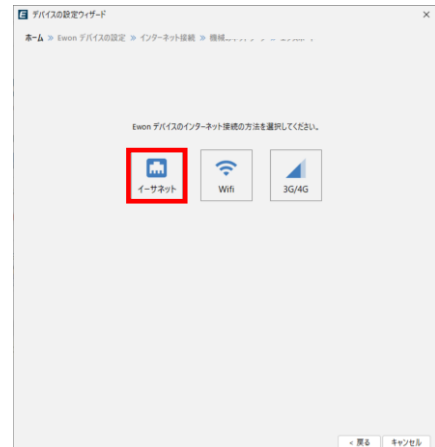
※Flexy本体のデフォルトのIPアドレスは、「10.0.0.53 / 255.255.255.0」です。

本書の構成では、Flexy本体の LAN IP は「192.168.3.53 / 255.255.255.0」に設定します。

**i** IPアドレスについて確認:

- Flexy本体には 2 つの異なる IP アドレスがあります。
- インターネットへ接続するためのWAN IP アドレス。
  - PLC、HMI、カメラなどの機器との接続するための LAN IP アドレス。

**(注意)** Flexy本体のLAN側とWAN側のIPアドレスが同じセグメント（例：192.168.3.XX）にある場合は、接続できません。





### 3.2.2 Flexy本体の設定をする（USB/SDカード）

内蔵Webブラウザの設定画面(GUI)から本体設定する場合は、p.15へ

- 7 これですべてのセットアップウィザードが完了し、構成ファイル「comcfg.txt」が作成されます。

\*同時に生成される「esetup.txt」はCosy+用の構成ファイルになります。

このファイルを、USBドライブまたはSDカードに保存します。

（パソコンに保存して後で使うこともできます。）

- 8 設定ファイルをUSBドライブまたはSDカードに保存すると、右のようにFlexy本体に設定する手順が表示されます。

- 9 Flexy本体にUSBドライブまたはSDカードを挿し、Flexy本体のUSR LEDが緑色に点灯するまで待ちます。点灯したら、取り外します。

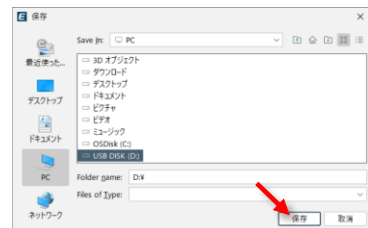
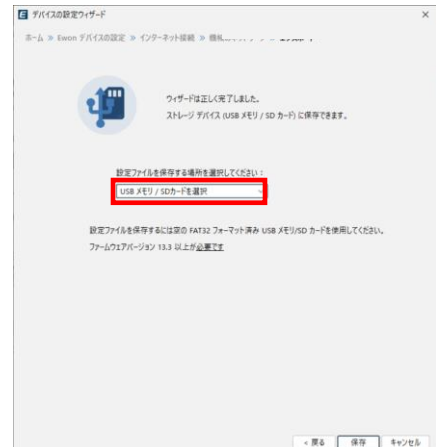
Flexy本体が再起動し、Talk2mとの接続を確立してテストします。（この操作が完了するまでに数分かかります。）

Flexy本体のTalk2m LED（緑色にゆっくり点滅）が確認できたら、完了です。

[閉じる]をクリックして、セットアップウィザードを閉じます。

- 10 「Ewon」をクリックすると、Ecatcherのメイン画面に戻ります。

EwonリストのFlexyが「オンライン」と表示されていることを確認します。



## 4. リモートアクセスの確認

### 4.1 Flexy経由で接続機器へ接続する

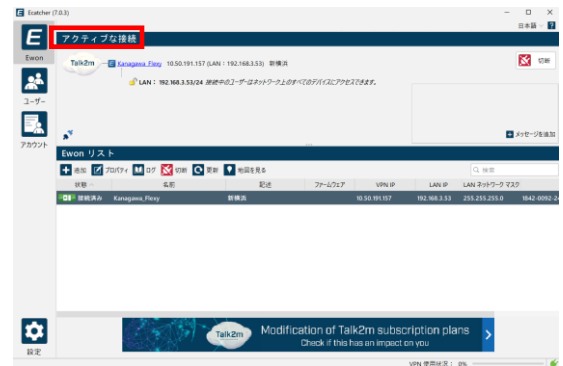
1 パソコンがインターネットに接続されていることを確認して、Ecatcherを起動、ログインします。

2 [Ewonリスト]から、接続したい Flexyを選択します。

緑色の[接続]ボタンをクリックして接続します。  
Ecatcherを使用して、パソコンからFlexyへ安全なVPN 接続を確立します。

3 VPN 接続が確立されると、Ecatcherの「アクティブな接続」欄にFlexy が表示されます。

これで、FlexyのLAN側に接続されているPLCやHMI、IPカメラ等にアクセスできます。



[接続]ボタンをクリックしても、状態の欄が「接続中」にならず、VPNトンネルエラーとなる原因として次のようなケースがあります。

- EcatcherからTalk2mサーバへのアクセスが、ファイアウォールなどでブロックされている  
→別の経路（WiFiや有線LAN）を使ってパソコンをインターネットに接続するか、ネットワーク管理者にご確認ください。
- Ecatcherのインストールが正常に完了していない  
→一度 Ecatcherをアンインストールし、再インストールをお願いします。

復旧しない場合は巻末の手順をお試しください



FlexyのLAN側の接続機器を登録して、Ecatcherの画面に表示したり、登録した機器にのみ接続を許可する設定もできます。

Ecatcherで該当のFlexyを選択し、[プロパティ] → [LANとファイアウォール] → [LAN]デバイスとファイアウォールの設定をクリックします。

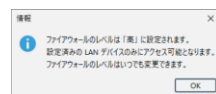
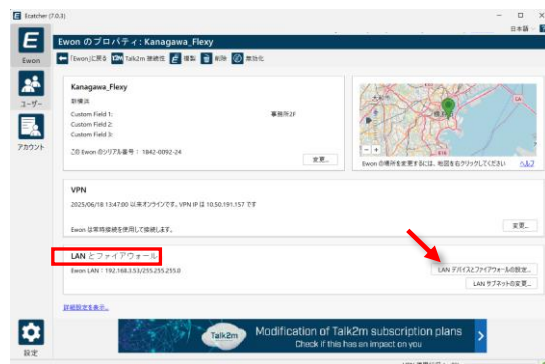
[LANデバイスの追加]をクリックし、表示したい機器の情報を入力します。

[OK]をクリックすると、ファイアウォールの設定が変更されたことを通知するメッセージが表示されます。

LAN側のすべての機器に接続する場合は、「標準」に変更します。

設定した機器のみへ接続する場合は、「高」のままにします。

次のログイン後に設定が反映されます。



## 4.2 接続方法

Flexyを使用したリモートアクセスには、以下の接続方法があります。

### Ecatcher:

Windows用 EwonのVPN クライアントソフトウェア。Talk2mアカウント管理ツールでもあり、アカウント管理者は、Ecatcherを使用して、ユーザーやFlexyの追加や削除など、Talk2mアカウントを管理できます。



### Ecatcher mobile:

Android および iOS 用の Ewon の VPN クライアントアプリケーション

■ eCatcher Mobile App: Connect to an Ewon  
<https://resources.ewon.biz/aug-0072>



### M2Web:

Web ブラウザを使用して、Web サーバーなどへ接続。特別なソフトウェアは不要で、  
<https://m2web.talk2m.com> からアクセスできます。

■ M2Web Platform  
<https://resources.ewon.biz/aug-0058>



## 付録)

### 1. 仕様

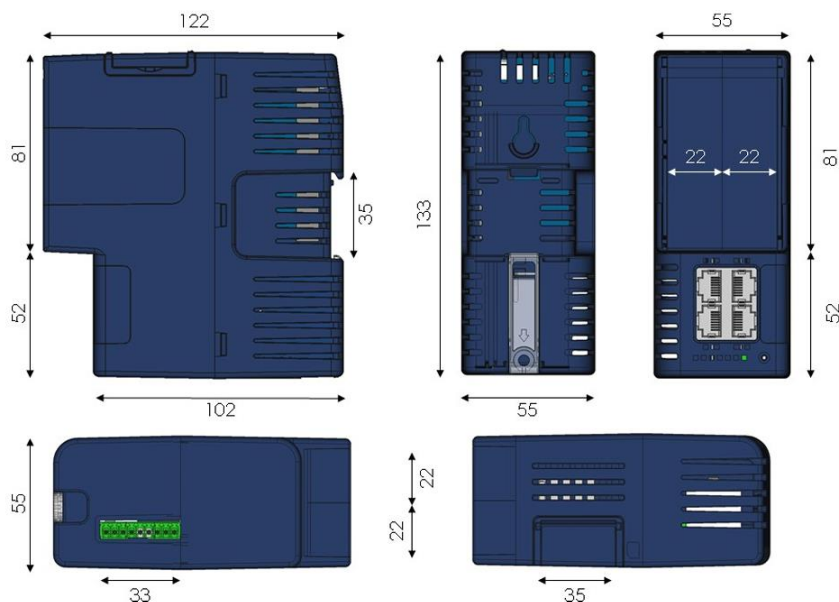
#### 1-1 一般仕様

項目	仕様
電源	DC 12～24V(+/-20%)
最大消費電力	30W以下
使用周囲温度	-25℃～60℃
使用周囲湿度	10～95% (結露しないこと)
保存周囲温度	-30℃～70℃
保存周囲湿度	10～95% (結露しないこと)
保護構造	IP20
外形寸法	133(H) × 122(D) × 55(W) mm
質量	280 g (拡張カードない場合で)
認証規格	CE, cULus, FCC, UKCA, RCM
保証期間	36か月

#### 1-2 性能仕様

項目	仕様
WAN通信	Ethernet (10/100 Mbps)
WAN Ethernet	最大3ポート (デフォルトでは、ポート4)
LAN Ethernet	最大4ポート (デフォルトでは、ポート1～3)
入力 / 出力	2×DI (通知送信用、接続制御用) / 1×DO (接続表示用)
SDカード	○ (設定書込み、ファームウェアアップデート用)

### 2. 外形寸法図 (単位 : mm)



3. 各部の名称



番号	仕様
1	LEDステータスランプ
2	リセットボタン
3	SDカードスロット
4	電源コネクタ
5	拡張カードスロット
6	LAN/WAN Ethernet ポート ・ <b>オレンジ</b> : WANポート ・ <b>緑</b> : LANポート

4. LEDランプ

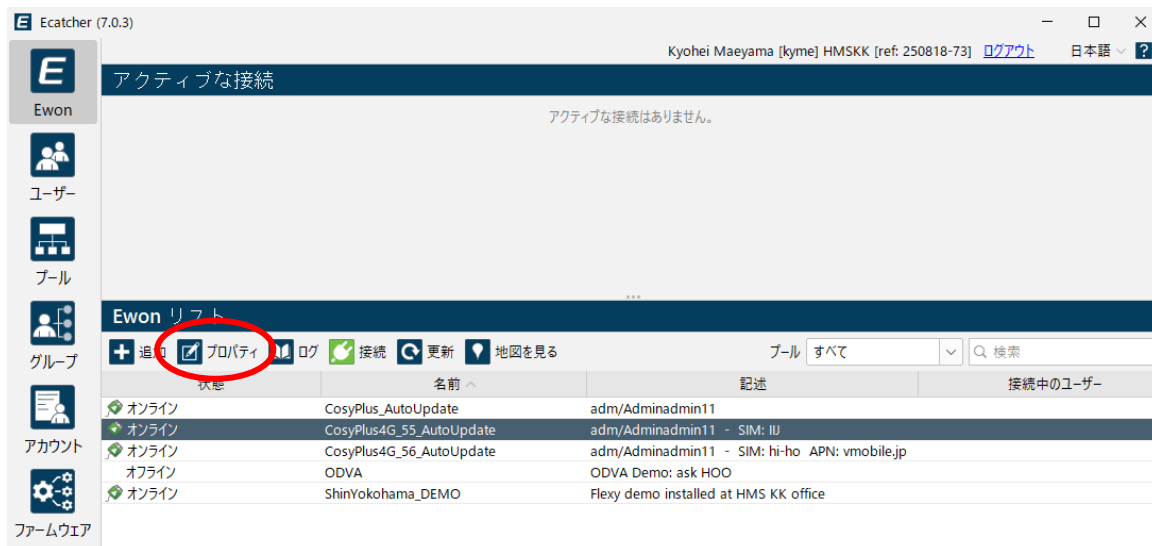


ラベル	仕様
PWR	電源 <b>緑</b> = 電源ON
USR	ユーザー <b>緑</b> ゆっくり点滅 = OK、 <b>赤</b> = 特別な注意が必要（ビジーやエラーなど）
DI1	デジタル入力1 <b>緑</b> = デジタル入力1(DI1) 信号検出
DI2	デジタル入力2 <b>緑</b> = デジタル入力2(DI2) 信号検出
DO	デジタル出力 <b>緑</b> = デジタル出力(DO)信号検出
T2M	Talk2m <b>緑</b> 点灯 = VPN接続が確立
BI1	リセットボタン <b>緑</b> = リセットボタン押下中

## 5. トラブルシューティング

### 5-1. Talk2mアカウントからEwon機器の紐づけを解除したい場合

① Ecatcherにログインし、紐づけ解除したい機器を選択し、【プロパティ】を押下



② 【削除】ボタンを押下することでこのアカウントから紐づけが解除されます。

\*このアカウントからの紐づけを解除することで別のアカウントにEwon製品を登録することができます



## 5-2. 以前使用していたアカウントやそのパスワードがわからなくなった場合 (Talk2mアカウントの紐づけを解除したい場合)

①下記リンクの申請用紙 (Device Unlock Request.pdf) に必要事項を記入してください。(申請用紙はEwon1台ごとに1部必要です。英語のみとなりますので、記入内容につきましては以下右の訳をご参考ください。)

[Talk2M Device Unlock Request Form](#)

**Ewon®**  
BY HMS NETWORKS

**Talk2m**  
Ewon Industrial Cloud

**Device Unlock Request**

Request to unlock Ewon device from linked Talk2m account

EWON SERIAL NUMBER:

Requester identification

NAME:   
COMPANY NAME:   
EMAIL:

Share more details and reason behind the inability to activate Ewon device:

☐ By checking this option, I agree that HMS contacts the Administrator of the existing Talk2m account and share my data and the contents of this request with him

Scan the QR code to contact Ewon support

**HMS**

**Ewon®**  
BY HMS NETWORKS

**Talk2m**  
Ewon Industrial Cloud

**デバイスのロック解除リクエスト**

Talk2m アカウントに紐づいたEwonデバイスのロック解除を申請します。

シリアルナンバー

申請者情報

氏名   
会社名   
メール

既存のアカウントから機器の削除ができない理由

☐ HMSが、Talk2m アカウントの管理者に確認を行い、本申請に関する内容を共有することに同意します。

Scan the QR code to contact Ewon support

**HMS**

②[HMSテクニカルサポート](#)から、「リクエストを送信する」をクリックして、サポートチケットを登録します。

HMS テクニカルサポート  
サポートチケットを登録・管理できます

どのようなご用件でしょうか？

**リクエストを送信する** または 自分のチケットを確認する



③リクエスト送信画面で、製品ブランド「Ewon」、製品グループ「Talk2m Account Changes」を選択し、手順 1. で作成した申請用紙を添付してください。

## リクエストを送信

件名

説明

T B / [List Icons] [Link Icon] [Image Icon] [More Icon]

リクエストの詳細を入力してください。サポートスタッフのメンバーができるだけ早く対応いたします。

製品ブランド

Ewon ▼

製品グループ

Talk2M Account Changes ▼

製品番号 (オプション)

シリアル番号 (オプション)

リビジョン (オプション)

関連する Case ID 番号 (オプション)

添付ファイル (オプション)

ファイルを追加またはここにファイルをドロップ

送信

④リクエストフォームの「送信」を押して完了です。リクエストが承認されると、申請を行ったEwonは全てのTalk2mアカウントから紐づけ解除されます。

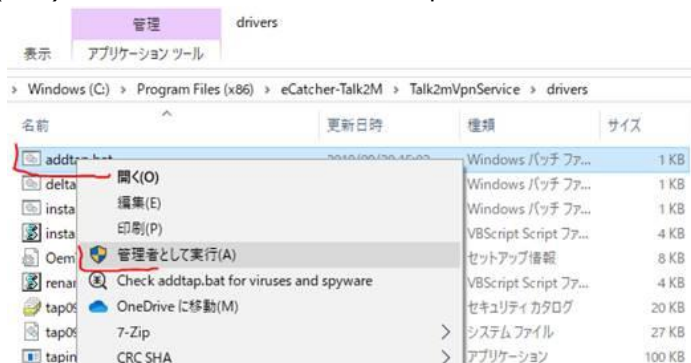
(参考)

[How to request an Ewon device to be unlocked](#)

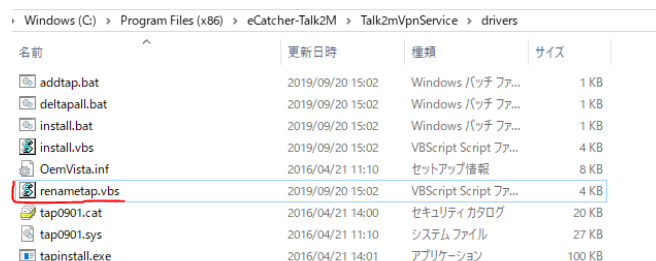
### 5-3. EcatcherにてVPNトンネルエラーとなった場合

#### ○Ecatcher のバージョンがv7.0.1以前の場合

①以下フォルダにアクセスし、フォルダ内にある【addtap.bat】を管理者権限で実行してください。  
C:¥Program Files (x86)¥eCatcher-Talk2M¥Talk2mVpnService¥drivers



②次に同じフォルダにある【renametap.vbs】を実行してください。



#### ○Ecatcherのバージョンが v7.0.2以降の場合

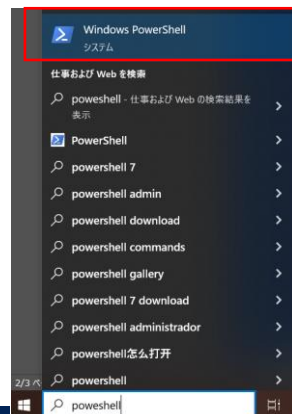
①Windowのスタートメニューから【PowerShell】を入力して右クリックにて【管理者として実行】を押して実行してください。

②「cd 'C:¥Program Files (x86)¥eCatcher-Talk2M¥Talk2mVpnService¥drivers' 」と入力してディレクトリを移動してください。

```
PS C:\Users\kyme> cd 'C:\Program Files (x86)\eCatcher-Talk2M\Talk2mVpnService\drivers'
PS C:\Program Files (x86)\eCatcher-Talk2M\Talk2mVpnService\drivers>
```

③【.¥install.ps1】を入力して実行してください。

```
PS C:\Program Files (x86)\eCatcher-Talk2M\Talk2mVpnService\drivers> .\install.ps1
```



④ネットワーク接続欄にTAP-Windows Adapterがインストールされているか確認して再度VPNの接続を試してください。

■コントロールパネル>>ネットワークとインターネット>>ネットワーク接続



▼上記内容で改善しない場合、以下を実行してください。

- ①スタートボタンを右クリックして  
【デバイスマネージャー】を開く。

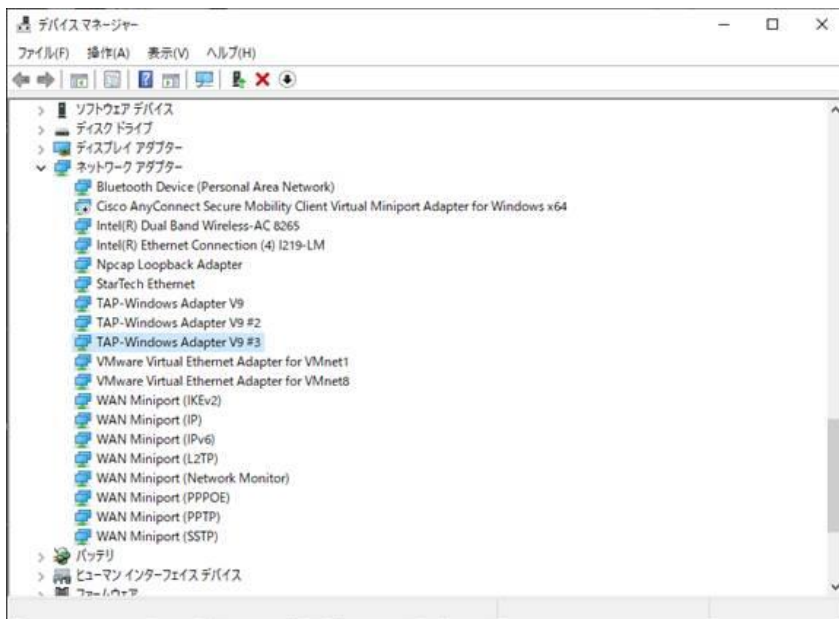


- ②ネットワークアダプターにTAP-Windows Adapter V9 が下図のように#2, #3 などと複数存在する場合は接続に失敗します。  
この場合は一度まずEcatcherをアンインストールします。

次にデバイスマネージャーからTAP-Windows Adapter V9で始まるものをすべて削除します。

その上でもう一度Ecatcherをインストールすることで本問題は解消できます。

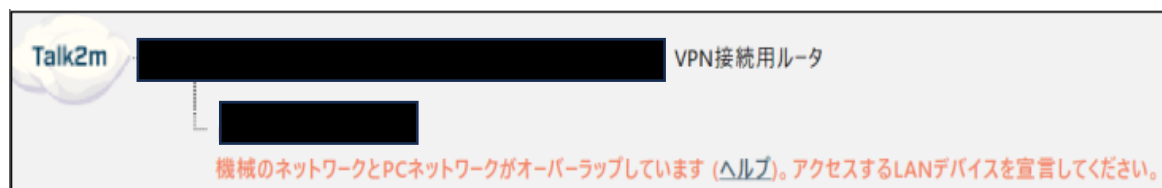
**\*TAP-Windows Adapter V9 がない場合も同様にEcatcherをアンインストール/再インストールをして改善があるか確認願います。**



#### 5-4. 「機器のネットワークとPCネットワークがオーバーラップしています」と表示された場合

Ecatcherがインストールされている PC のIPアドレスのセグメントと、Ewonの LAN 側の機器のIPアドレスのセグメントが同じであるため、表示されるメッセージです。

CosyのLAN側IPアドレスとPCが利用するIPアドレスは、異なるセグメントに属するものを使用してください。



#### 5-5. フォルダ名が文字化けされて接続ができない場合

Windowsのユーザー名やフォルダ名などに英数字以外が使用されているとフォルダを読み込めず、接続できません。

文字化けしている箇所の名前の変更をしてください。



上記以外のトラブルや不明点は下記をご参考願います。

○Ecatcher オンラインヘルプ

<https://help.ewon.biz/ecatcher/help/en/index-en.html>

その他技術的なお問い合わせは販売代理店へお問い合わせをお願い致します。



HMSインダストリアルネットワークス株式会社  
〒222-0033  
神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3  
新横浜KSビル6F

<https://www.hms-networks.com/home>